

## 回転児雷也による油脂排水処理

従来、多量の油脂を含んだ排水を生物法のみで処理することは困難とされて来ました。これは分解の遅い油脂分が槽内に蓄積し、微生物に悪影響を与えることが原因だと考えられています。

弊社では「回転児雷也」を直列に配置し、多段処理を行うことで数100mg/Lの油脂を含む排水を安定的に処理することに成功し、多くの実績を重ねております。

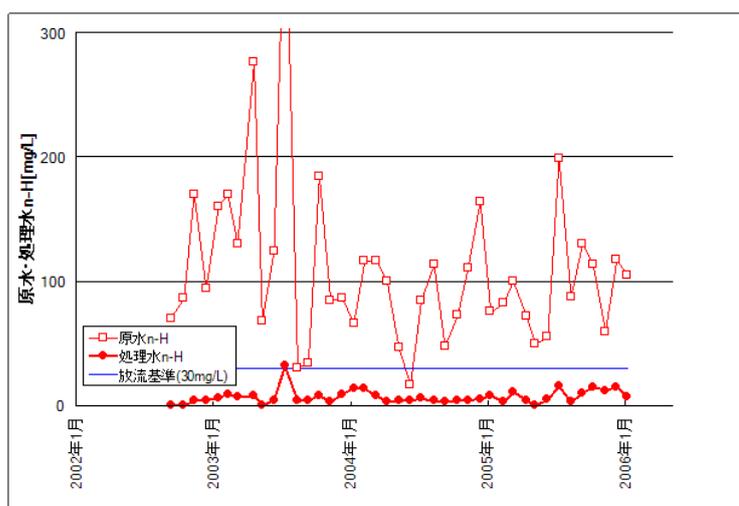


### 実施例

業種：ファミリーレストランセントラルキッチン  
 排水量：360m<sup>3</sup>/日  
 設備：「回転児雷也」R-38(60m<sup>3</sup>)×2基  
 水質

	原水	放流水	規制値
P H	4.8	7.3	5.8~8.6
B O D	1080	38	300 ↓
C O D	430	40	—
S S	245	54	300 ↓
n-H	180	3	30 ↓

回転児雷也のような固定床式の生物処理装置は、微生物相が多様で、油脂分解酵素を分泌する微生物も生息することが知られています。回転散気管による連続洗浄機構により、槽の閉塞が抑制されるため、流入する油脂による生物阻害を防止しつつ、高い処理能力の維持が可能です。



原水及び処理水 n-H の推移